

# 平成29年度 I 在宅生活志向をもつ看護師育成コース

【目的】 病院勤務看護師が在宅生活志向を高める。

- 【目標】
1. 入院患者の退院後の生活を意識することができる。
  2. 退院に向けて、入院時より必要な情報を収集することができる。
  3. 入院患者が在宅療養へ移行するために、病院看護師として、多職種での連携の必要性を理解することができる。

## 《基礎コース 2年目》 集合研修とHOCノートによる個人課題で行われる

【研修科目】	第4回集合研修：退院後の生活と地域資源について
【ねらい】	在宅生活志向に必要な知識の確認ができる。
【内 容】	<p>*日程 平成29年5月24日（水）13時～16時</p> <p>*場所 鳥取大学医学部附属病院 第二中央診療棟 2階 会議室2</p> <p>*講義 退院後の生活を見据えた看護活動/在宅療養に必要な資源・介護保険の仕組み</p> <p>*講師 鳥取県介護支援専門員連絡協議会 会長 医療法人養和会 シニアマンションこうやまち老号館 総合管理者 石田 良太 氏 医療保険のしくみ 鳥取大学医学部附属病院 医療福祉支援センター 副看護師長 山岡 亜矢 氏</p> <p>*グループ討議〈テーマ〉在宅生活を行うための地域の資源について アドバイザー 山岡 亜矢 氏</p> <p>*HOCノート（P.16） 研修終了後記入すること</p>

【研修科目】	個人課題 受け持ち患者への外来受診時インタビュー
【ねらい】	退院支援を行った受け持ち患者より、実際に退院してからの生活・受講生の退院支援の内容を再確認することができる。
【課 題】	<p>*HOCノート（P.18、19） 受け持った患者の退院後の生活の様子を知る 1人目 提出期限：平成29年6月30日（金）</p> <p>-----</p> <p>*HOCノート（P.20、21） 受け持った患者の退院後の生活の様子を知る 2人目 提出期限：平成29年8月18日（金）</p> <p>-----</p> <p>*HOCノート（P.22、23） 受け持った患者の退院後の生活の様子を知る 3人目 提出期限：平成29年9月29日（金）</p>

【研修科目】	第3回T-HOCひのセミナー
【ねらい】	山間地の環境の中で、訪問看護実践者による講義を受け、病院看護師が、地域の生活を支援する看護の視点を明確にできる。
【内 容】	<p>*日程 平成29年9月8日（金）13時00分～16時30分</p> <p>*場所 日野文化センター</p> <p>*特別講義 （案）「雲南市における訪問看護による地方創生『コミケア』」 （案）「心の笑顔～心から笑顔になっていますか」</p> <p>*講師 訪問看護ステーションコミケア 所長代行 安達 弓恵 日野町瑠璃光山泉龍寺 住職 三島 道秀</p>

【研修科目】	第5回T-HOC特別セミナー
【内 容】	<p>*日程 平成29年10月下旬（予定）</p> <p>*特別講義（講師：未定）</p>

【研修科目】	<b>意見交換会（Ⅲ訪問看護能力強化コース 意見交換会と合同）</b>
【ねらい】	受講生が、訪問看護ステーション実習を終えたⅢコース受講生と在宅生活志向を加味した看護について意見交換することにより、現在各受講生が実践できている点と課題となることを明確にすることができる。
【内 容】	<ul style="list-style-type: none"> <li>*日程 平成29年11月（予定）</li> <li>*グループ意見交換〈テーマ〉在宅生活志向をふまえて現在実践できていること・課題になっていること</li> </ul>

【研修科目】	<b>第5回集合研修：在宅生活志向による看護の実践</b>
【ねらい】	在宅志向を加味した自分の実践の振り返りを共有する。 地域包括ケアでの看護実践について理解する。
【内 容】	<ul style="list-style-type: none"> <li>*日程 平成29年12月上旬（予定）</li> <li>*場所 鳥取大学医学部 記念講堂（予定）</li> <li>*講義 在宅生活志向による看護の実践</li> <li>*講師 茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター 看護局長 角田 直枝 氏【案】</li> <li>*グループ討議〈テーマ〉在宅生活志向看護を基盤とした看護の実践</li> <li>*HOCノート（P.24） 研修終了後記入すること</li> <li>*2年目の評価（P.25） 研修終了後記入すること</li> </ul>

【研修科目】	<b>個人課題：このコースを受けて実践していること 今後の課題</b>
【ねらい】	在宅生活志向について看護実践できることについてまとめる。
【課 題】	<ul style="list-style-type: none"> <li>*HOCノート（P.26・27） まとめ このコースを受けた感想・実践していること 今後の課題・2年間を通しての評価をしよう！</li> </ul> <p>提出期限：平成30年1月下旬</p>

【研修科目】	<b>第6回T-HOC特別セミナー</b>
【内 容】	<ul style="list-style-type: none"> <li>*日程 平成30年3月上旬（予定）</li> <li>*特別講義（講師：未定）</li> </ul>

## 《《実践コース》》

(本コースは基礎コース2年目修了者より8名を募集します)

【目的】 病院勤務看護師が在宅生活志向を高める。

- 【目標】 1. 病院勤務看護師の在宅生活志向を強化し、退院支援の実践に生かすことができる。  
 2. 家族を含めた患者が、在宅療養を送るために必要な地域の資源を提供することができる。  
 3. 必要に応じて、多職種での連携を加味した退院支援を実践することができる。

【研修科目】	第1回集合研修：患者中心の地域連携のための地域資源について
【ねらい】	在宅生活志向を強化するために、実際の地域をモデルにどのような資源があり、どのように連携するか、モデル地区を想定した演習を行い理解する。
【内容】	<p>*日程 平成30年5月下旬（予定）</p> <p>*講義 患者の住み慣れた地域を知り患者中心の地域看護連携へ</p> <p>*講師 (未定)</p> <p>*グループ演習(仮) 退院事例を通して、地域における社会資源を知る      -看護の視点での地域診断-</p>

【研修科目】	訪問看護ステーション実習
【ねらい】	家族を含めた利用者に対し専門的知識と個別性をふまえた支援の展開を知る。 訪問看護師として他職種と協働する必要性や役割を理解できる。
【内容】	<p>*日程 平成30年6月から11月（予定）</p> <p>*実習先 (県内の指定された) 訪問看護ステーション（5日間）</p>

【研修科目】	訪問診療同行実習
【ねらい】	入職3年（もしくは4年）目の病院看護師が、在宅療養者の生活を支援する一つである訪問診療の実際を知る。
【内容】	<p>*日程 平成30年6月から11月（予定）</p> <p>*実習先 (県内の指定された) 在宅療養診療所（1日間）</p>

【研修科目】	地域包括支援センター実習
【ねらい】	入職3年（もしくは4年）目の病院看護師が、地域包括ケアシステムの中で地域包括支援センターが実際行っている地域住民への働きかけを知る。 家族を含めた利用者に対し専門的知識と個別性をふまえた支援の展開を知る。
【内容】	<p>*日程 平成30年6月から11月（予定）</p> <p>*実習先 (県内の指定された) 地域包括支援センター（1日間）</p>

【研修科目】	退院支援実習
【ねらい】	自部署の退院支援ナースと共に退院時カンファレンスに参加し、他の専門職の患者理解の視点を知り、患者の生活を理解する。 自宅訪問を通じて、より実践的な退院支援の視点をもつ。
【内容】	<p>*日程 平成30年6月～10月（予定）</p> <p>*内容 ①（多職種を含めた）退院時カンファレンスに参加する      ②退院後訪問を行う</p>

【研修科目】	第3回T-HOCひのセミナー
【ねらい】	山間地の環境の中で、訪問看護実践者による講義を受け、病院看護師が、地域の生活を支援

28年度 I コース入講生

【ねらい】	する看護の視点を明確にできる。
【内 容】	*日程 平成30年9月(予定) *特別講義(講師:未定)

【研修科目】	第7回T-HOC特別セミナー
【内 容】	*日程 平成30年10月下旬(予定) *特別講義(講師:未定)

【研修科目】	実習後カンファレンス
【ねらい】	実習で学んだことを、他の実習先で学んだ受講生と情報交換をし、学びを深める。
【内 容】	*日程 平成30年12月(予定) *グループ討議 *助言者(実習先の訪問看護ステーション管理者 1名) 実習カンファレンス後、実習総括レポート(タイトル自由)を提出すること。

【研修科目】	第2回集合研修:在宅生活志向の看護の実践に向けて
【ねらい】	これまでの3年間のコースで学んだことを、今後の看護活動にどのように反映するか明確にする。
【内 容】	*日程 平成31年1月(予定) *講義 在宅生活志向の看護の実践に向けて (講師:未定)

【研修科目】	第8回T-HOC特別セミナー
【内 容】	*日程 平成31年3月上旬(予定) *特別講義(講師:未定)